



## 佐藤和也教授と物理学コース学生が「佐賀大 de ラボ」の活動について 佐賀経済同友会 第47回競争力ある人財・産業づくり推進委員会にて紹介

### 【概要】

機械工学部門の佐藤 和也 教授と物理学コース3年 岡田 菜花 さんが、2022年9月13日（火）に佐賀大学 産学交流プラザにて開催された、佐賀経済同友会 第47回競争力ある人財・産業づくり推進委員会の意見発表において「佐賀大 de ラボ」の取り組みについて紹介しました。

### 【本文】

機械工学部門の佐藤 和也 教授と物理学コース3年 岡田 菜花 さんが、2022年9月13日（火）に佐賀大学 産学交流プラザにて開催された、佐賀経済同友会 第47回競争力ある人財・産業づくり推進委員会 意見発表において、キャンパス内で社会実装教育が可能な取り組みのひとつとして株式会社中山ホールディングス (<https://www.ncjpn.com>) により設置されている「佐賀大 de ラボ」の取り組みについて紹介しました。

佐賀大 de ラボは2018年9月より学内に設置され、ロボット開発に向けて活用できる産学連携拠点です。また、2022年4月には、佐賀大学先端教育研究施設（芳尾記念ラボ。佐賀県佐賀市与賀町1341）に移設され、3DプリンターやCNCフライス盤、穴あけ加工のボール盤、半田ごてなど、ものづくりに必要な装置・道具などを完備し、気軽にアイデアをカタチにできる施設になっています。佐賀大生であれば「誰でも無料で」使えるものづくり工房であり、中山ホールディングスの事業の一部に携わることで「実務経験を積みながら」アルバイトできる場所として、2022年9月現在、理工学部の学部生・大学院生13名がラボメンバーとして活動しています。

意見交換会において、佐賀大学学長、中山ホールディングス社長のご挨拶に続いて、ラボの大学側の責任者である佐藤教授よりラボ設置の経緯や概要が説明され、ラボメンバーである岡田さんから、2022年8月に開催された「SAGA ものすごフェスタ」に出展し、「粉碎機 de プラスチックの再利用！～ゴミから作るキーホルダー～」の企画立案・当日の運営の様子、福岡市にある再生可能エネルギー関連企業が作成した水車による水力発電装置の改良に関わった状況、生ごみの資源化を目指したスマートコミュニティバイオ装置の量産化を目指した図面化と実物大の試作プラントの制作の様子が紹介されました。

意見交換会には佐賀経済同友会 競争力ある人財・産業づくり推進委員会メンバー16名の方々が参加され、ラボメンバーが学業とラボ活動をどのように両立させているのか、実務経験はどのようなものなのか？活動を行うことで役に立ったことは何か？など活発な質疑応答がなされました。さらに発表後、実際に芳尾記念ラボに赴き、ラボ内の装置や設置された設備などを見学していただき、活発な議論が交わされていました。

佐賀大 de ラボの利用は理工学部学生に広く開放されており、ラボメンバーも常に募集し

ております。興味のある方は金曜 16 時以降に直接ラボに行くか、Twitter (@saga\_u\_delab) もしくは佐藤教授 ([sato@me.saga-u.ac.jp](mailto:sato@me.saga-u.ac.jp)) までご連絡ください。



「佐賀大 de ラボ」の活動状況の説明を行う岡田さん